

マルチCD/MDコントロール  
チューナーデッキアンプ

目次 4 ページ

# 取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。なお、この取扱説明書は、保証書と一緒に必ず保管してください。

接続と取り付けは、別冊の取付説明書をご覧ください。

**carrozeria**  
by PIONEER

# KEH-P303



# 安全のために必ずお守りください

## 絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。



### 注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

# 警告

## [異常時の処置]

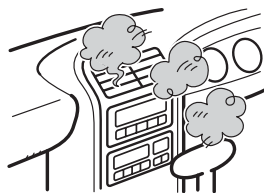
### 故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

### 異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

### ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

# 目次

## はじめに

- 1 各部のなまえ 6
- 2 別売のメインコントローラーを使う 7

## ここだけで

### ここだけ読めばすぐ使えます

- 1 聞きたいソース (音源) を選ぶ 8
- 2 テープのふだんの操作 10
  - テープをセットする
  - 再生する面を選ぶ
  - 音量を調節する
- 3 ラジオのふだんの操作 12
  - バンドを選ぶ
  - 放送局を選ぶ
  - 音量を調節する
- 4 マルチCDのふだんの操作 14
  - CDを選ぶ
  - 曲を選ぶ
  - 早送り/早戻しをする
  - 音量を調節する

## テープ

### テープを聞く

- 1 早送り/巻き戻しや頭出しをする 16
- 2 モードの切り換えかた 17
- 3 同じ曲を繰り返し聞く 17
- 4 長い無音部分を自動的に早送りする 18
- 5 早送り/巻き戻し中にラジオを聞く 18
- 6 ドルビー B NR 19

## ラジオ

### ラジオを聞く

- 1 複数の放送局を自動的に記憶させる 20
- 2 放送局を1局ずつ記憶させる 21
- 3 記憶させた放送局を呼び出す 21

## マルチCD

### マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- 1 聞きたいCDを直接選ぶ (6/12枚) 22
- 2 おおまかに選んでから聞きたいCDを選ぶ (50枚) 22
- 3 モードの切り換えかた 23
- 4 同じ曲やCDを繰り返し聞く 24
- 5 聞きたい曲やCDをさがす 25
- 6 いつもと違う曲順で聞く 26
- 7 聞きたい曲だけ記憶させておく 27
- 8 記憶させた曲だけ再生する 28
- 9 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す 29
- 10 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す 29
- 11 CDをグループ分けする (50枚) 30
- 12 グループ別で再生する (50枚) 31
- 13 CDをグループから消す (50枚) 31
- 14 CDのタイトルを記憶させる 32
- 15 タイトルを見て聞きたいCDをさがす 33
- 16 タイトルの頭文字でCDをさがす (50枚) 34
- 17 演奏頻度でCDを再生する (50枚) 35
- 18 CDのタイトルやグループを表示させる 35
- 19 CDの音質を調整する 36
- 20 CD再生を一時停止する 37
- 21 選んだCDを取り出す (50枚) 37

すぐに使いたいときは、  
ここをお読みください。

## 音の調節

### 音を調節する

- |   |                       |    |
|---|-----------------------|----|
| 1 | オーディオ調節モードの<br>切り換えかた | 38 |
| 2 | 低音を調節する               | 38 |
| 3 | 高音を調節する               | 39 |
| 4 | 前後左右の音量バランスを調節する      | 39 |
| 5 | 前にステージがあるような<br>感じにする | 40 |
| 6 | 小音量時の音にメリハリをつける       | 41 |

## その他

### その他の機能と付録

- |    |                         |    |
|----|-------------------------|----|
| 1  | よく使う機能を学習させる            | 42 |
| 2  | 交通情報を受信する               | 43 |
| 3  | 時計を合わせる                 | 44 |
| 4  | 時計を表示させる                | 45 |
| 5  | 初期設定モードの切り換えかた          | 45 |
| 6  | 夜間のディスプレイの<br>明るさを切り換える | 46 |
| 7  | 外部機器の音声を聞く              | 47 |
| 8  | テレビのときに<br>オートアンテナをのばす  | 48 |
| 9  | テープの正しい使いかた             | 49 |
| 10 | 故障かな？と思ったら              | 50 |
| 11 | 保証書とアフターサービス            | 52 |
| 12 | おもな仕様                   | 53 |
| 13 | 本機の操作の概要                | 54 |

はじめに

テープを聞く

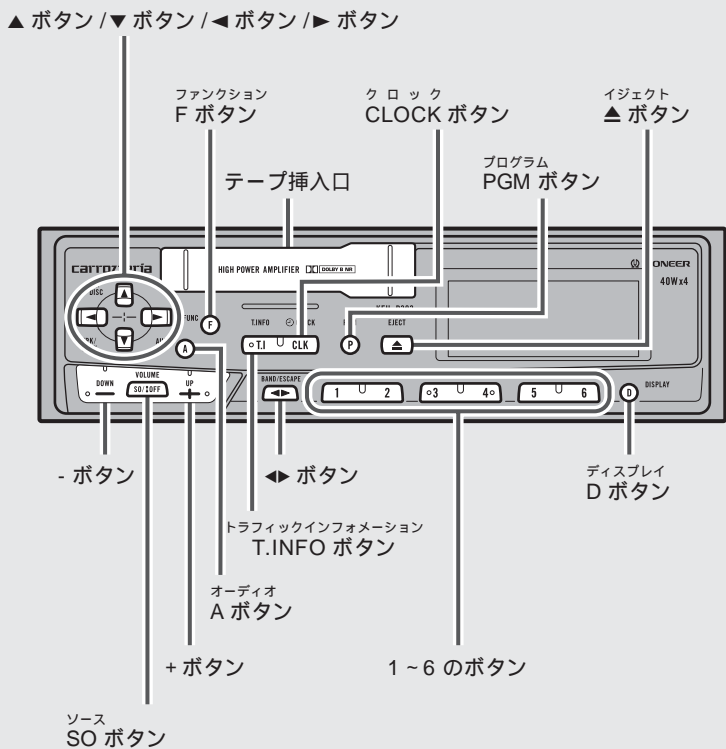
ラジオを聞く

マルチCDでCDを聞く

音を調節する

その他の機能と付録

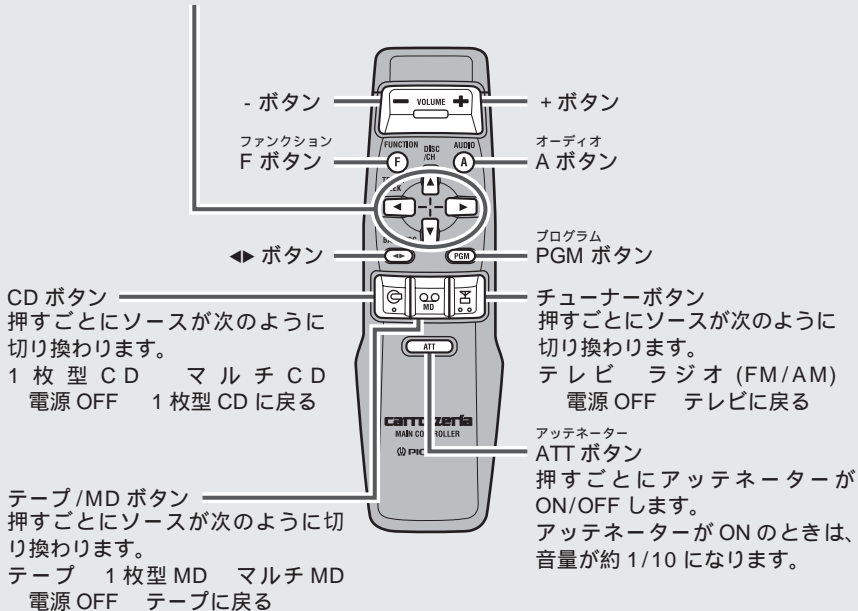
本機「KEH-P303」



## 別売のメインコントローラー「CD-R66」について

別売のメインコントローラー「CD-R66」で、本機を操作することができます。  
メインコントローラーの取り扱いについては、メインコントローラーの説明書をお読みください。

## ▲ ボタン / ▼ ボタン / ◀ ボタン / ▶ ボタン



## メモ

別売のステアリングリモートコントロールユニット「CD-SR77」(以下、ステアリングリモコン)で本機を操作することもできます。ただし、この場合は、一部リモコンでは操作できない機能があります。

ステアリングリモコンの操作のしかたや取り扱いについては、ステアリングリモコンの説明書をお読みください。

## 聞きたいソース (音源) を選ぶ

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

### ソースを切り換える

SO ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

1 枚型 CD

テレビ

ラジオ (FM/AM)

テープ

1 枚型 MD

マルチ MD

マルチ CD

AUX (外部機器)

1 枚型 CD に戻る

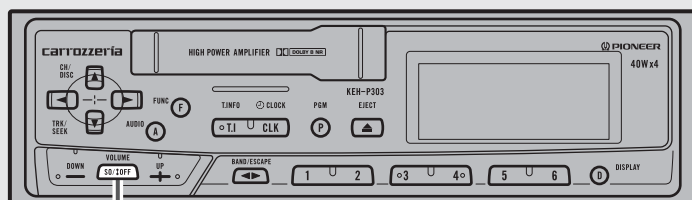
テレビとして、6.0 型 AV システム TV  
「AVX-P600」は接続できません。

### 電源を切る

SO ボタンを 1 秒以上押す

本機の電源が切れます。





## テレビ、1枚型CD、1枚型MD、マルチMDを接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

組み合わせ例

ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P505」
1枚型MD	「MDS-P505」
マルチMD	「MD-P100II」
1枚型CD	「CDS-P303」

上記の製品の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作説明が行われている場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。

本機では、1枚型CDでスキャン再生を行うこともできます。

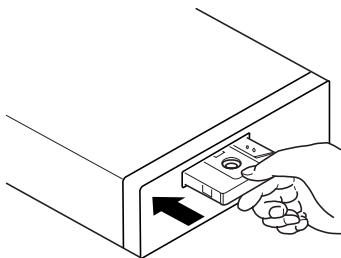
## メモ

接続していないソースには切り換わりません。テープやCD、MDがセットされていないときはそのソースには切り換わりません。AUX (外部機器) の設定 (☞ その他 7 47 ページ) をONにしないと、AUXには切り換わりません。

ここだけの操作で、テープを聞くことができます。

## 1 テープを セットする

テープ面を右側にして、挿入口に差し込む



テープの再生が始まります。



再生時間カウンター

## 2 再生する面を 選ぶ

◀ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、再生する面が切り換わります。



|||| (上にした面を再生)

|||| (下にした面を再生)

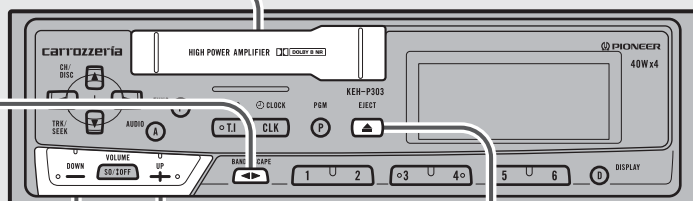
### メモ

再生時間カウンターは、テープを再生している時間をカウントしていますので、テープが早送り/巻き戻しされている間は、カウントが止まります。再生時間カウンターは、次のときにリセットされ“0”に戻ります。

- \* テープを入れ換えたとき。
- \* 再生面が切り換わったとき。
- \* テープが先頭まで巻き戻されたとき。

メタル/クロームテープをセットすると、“METAL”と約4秒間表示されます。

テープをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやマルチCDなど)に切り換えることもできます。(☞ ここだけで①8ページ)



### 3 音量を調節する

+ または - ボタンを押す

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



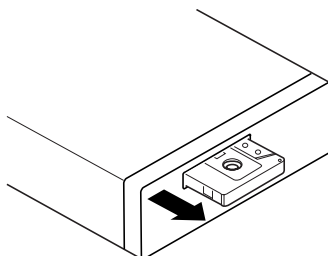
0~30の範囲で  
調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

### 4 テープを取り出して テープ再生をやめる

▲ ボタンを押す

テープが出てきます。



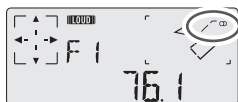
出てきたテープはすぐに取り出して、保管してください。

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

## 1 ソースを ラジオにする

SO ボタンを押す

ラジオを受信します。

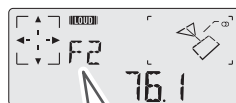


ステレオ放送を受信すると表示されます。

## 2 バンドを 選ぶ

◀ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

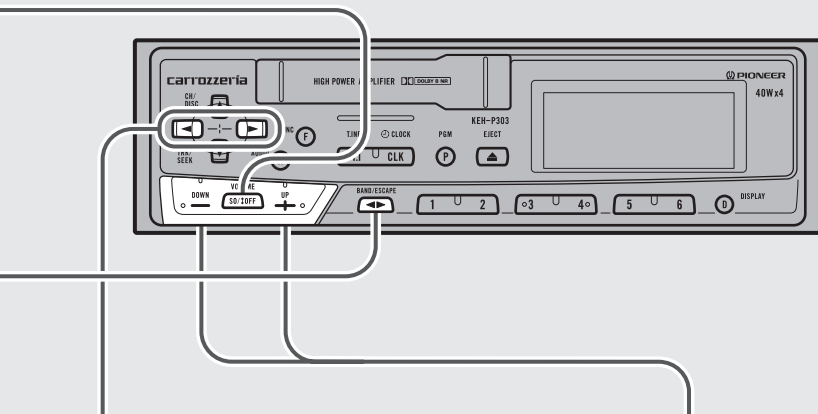


F1 (FM1)    F2 (FM2)

A2 (AM2)    A1 (AM1)

FMとAMのどちらとも、より多くの放送局を記憶できるように、1と2のバンドに分かれています。(受信できる周波数は1と2のどちらも同じです。)

ここだけ読めば  
すぐ使えます



### 3 放送局を 選局する

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき

◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

#### 選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.3秒以内
自動選局	0.3秒 ~ 2秒の間
手動選局 (連続)	2秒以上押し続け ている間

電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

### 4 音量を 調節する

+または- ボタンを押す

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



0 ~ 30 の範囲で  
調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

### 5 ラジオの 受信をやめる

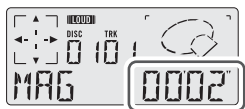
他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (☞ ここだけで①8ページ)

ここだけの操作で、マルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

## 1 ソースを マルチCDにする

SO ボタンを押す

マルチCDの再生が始まります。



再生経過時間

## 2 聞きたいCDを 選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲ : 次のCDを選ぶとき

▼ : 前のCDを選ぶとき



CD番号

## マルチCDを2台以上 接続したときは

再生するマルチCDを選ぶことができます。

◀ ボタンを押すごとに、次のマルチCDの再生に切り換わります。



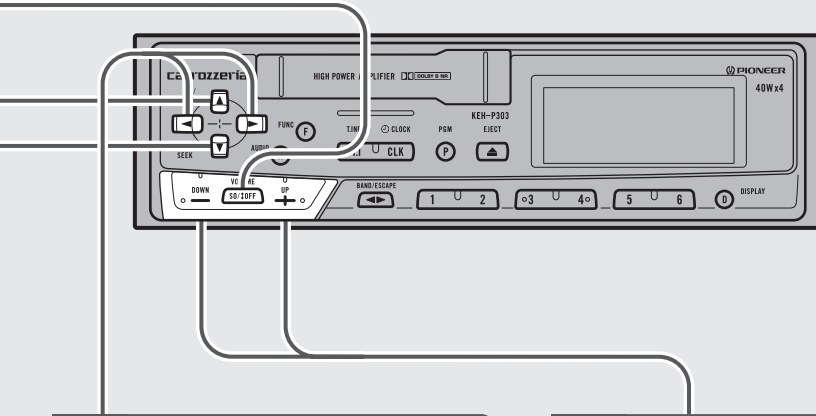
マルチCDの番号が約2秒間表示されます。

## メモ

別売のIP-BUS拡張アダプター「CD-P33」などを使うと、複数のマルチCDを接続できます。接続できる台数については、IP-BUS拡張アダプターの説明書をご覧ください。(「CDX-P630S」のように、2台以上接続することができないマルチCDがあります。)

マルチCDが準備動作(CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど)をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると「READY」が表示されます。

50連奏マルチCDを操作する場合は、準備動作が終了していないと「NOT READY」と表示され動作しない機能があります。その場合は、50連奏マルチCD以外のソースに切り換えてください。その間に自動的に準備動作を行います。マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、「NO MAG」が表示されます。



### 3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択 0.5秒以内

曲の早送り/早戻し 0.5秒以上押し続けている間

### 4 音量を 調節する

+または- ボタンを押す

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



0~30の範囲で  
調節できます。

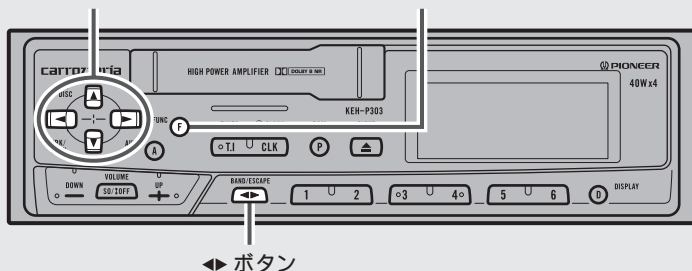
約4秒間、音量が表示されます。

### 5 マルチCD再生を やめる

他のソースに切り換えるか、電源  
OFFにする (☞ ここだけで①8ページ)

▲ ボタン / ▼ ボタン / ◀ ボタン / ▶ ボタン

ファンクション  
F ボタン



テープ  
1

## 早送り/巻き戻しや頭出しをする

早送り/巻き戻し / 頭出し

早送り/巻き戻しをして、曲の聞きたいところから再生を始めることができます。また、次の曲の頭出しや、今聞いている曲の頭出しも簡単にできます。

### 早送りや次の曲の 頭出しをする

#### ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



再生時間カウンター (通常の再生)

FF (早送り)

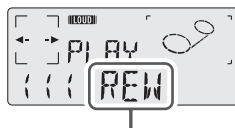
F-MS (次の曲の頭出し)

再生時間カウンターに戻る

### 巻き戻しや今聞いている曲の 頭出しをする

#### ◀ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



再生時間カウンター (通常の再生)

REW (巻き戻し)

R-MS (今聞いている曲の頭出し)

再生時間カウンターに戻る

### メモ

早送り/巻き戻しや頭出しは、◀▶ ボタンを押しても途中で解除されます。



## モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

### ファンクションモードの切り換え

#### ファンクションモードを切り換える

F ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ テープ③)

ブランクスキップモード  
(☞ テープ④ 18 ページ)

ラジオインターセプトモード  
(☞ テープ⑤ 18 ページ)

ドルビー B NR モード (☞ テープ⑥ 19 ページ)

リピートモードに戻る

#### メモ

ファンクションモードを解除するには、◀▶ ボタンを押します。  
(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

## 同じ曲を繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

### 1 リピートモードにする

F ボタンを押して選ぶ (☞ テープ②)



### 2 リピート再生を ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



今聞いている曲を繰り返し再生します。

◀▶ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



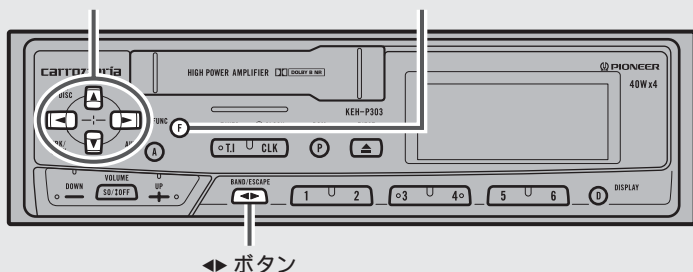
リピート再生中に表示されます。

#### メモ

リピート再生は、ファンクション、詳細設定、初期設定、オーディオ調節モード 以外のときに ▶▶ ボタンを押しても、OFF になります。

▲ ボタン / ▼ ボタン / ◀ ボタン / ▶ ボタン

ファンクション  
F ボタン



◀▶ ボタン

テープ  
4

## 長い無音部分を自動的に早送りする

ブランクスキップ

テープ再生中に12秒以上の無音部分(あき)があった場合、自動的に次の曲の始めまで早送りさせることができます。

### 1 ブランクスキップモードにする

F ボタンを押して選ぶ  
( テープ② 17ページ)



### 2 ブランクスキップをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



◀▶ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

テープ  
5

## 早送り/巻き戻し中にラジオを聞く

ラジオインターセプト

早送り/巻き戻し中にラジオを聞くことができます。

### 1 ラジオインターセプトモードにする

F ボタンを押して選ぶ  
( テープ② 17ページ)



### 2 ラジオインターセプトをONにする

▶ ボタンを押す (◀ ボタンでOFF)



◀▶ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

### メモ

頭出しをしているときは、ラジオを聞くことはできません。  
ラジオインターセプト動作中はラジオの表示になります。

ドルビー B NR ONで録音したテープを聞くときは、本機もドルビー B NR ONにしてください。

## 1 ドルビー B NRモードにする

F ボタンを押して選ぶ  
(15 テープ 17 ページ)



## 2 ドルビー B NRを ONにする

▶ ボタンを押す (◀ ボタンでOFF)



ドルビー B NR  
がONのときに  
表示されます。

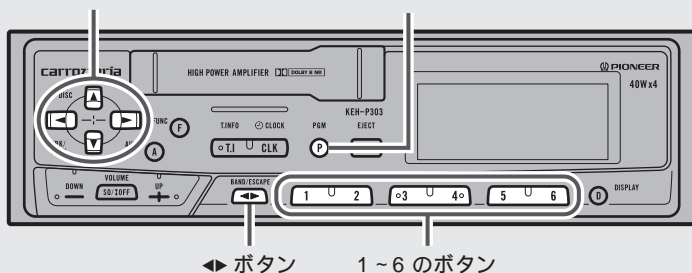
◀ ボタンを押して、ファンクションモード  
を解除してください。

### メモ

ドルビー NRシステムは、テープ再生中に生じる“サー”という雑音 (ヒスノイズ) を減らすシステムです。

ドルビー ノイズリダクションはドルビー ラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY およびダブルD記号はドルビー ラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションの登録商標です。

▲ ボタン / ▼ ボタン / ◀ ボタン / ▶ ボタン  
プログラム PGM ボタン



ラジオ  
1

## 複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

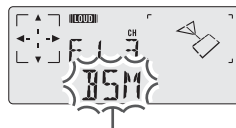
受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

### 1 記憶させるバンドを選ぶ

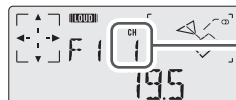
◀▶ ボタンを押す

### 2 BSM を始める

PGM ボタンを2秒以上押す  
(PGM ボタンで途中解除)



記憶動作中に点滅します。



受信中の  
記憶番号

記憶が終わると、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

### メモ

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。  
BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。  
記憶させた放送局を呼び出すには (ラジオ③) ラジオでは、PGM ボタンにBSM以外の機能を学習させることはできません。  
BSMはFボタンを使って操作することもできます。

## 放送局を 1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手で記憶させることができます。

### 1 記憶させるバンドを選ぶ

◀ ボタンを押す

### 2 記憶させたい放送局を選局する

◀ または ▶ ボタンを押す

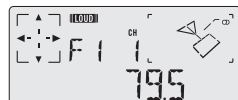
(※ ここだけで③ 13ページ)

### 3 記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号（記憶番号）が点滅します。



記憶が終わると点滅が終わり、受信中の放送局が記憶されます。

#### メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (※ ラジオ④)

## 記憶させた放送局を 呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

### 1 記憶させたバンドを選ぶ

◀ ボタンを押す

### 2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す

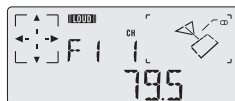
1～6のボタンの1つを押す

記憶させた放送局を順番に呼び出す

▲ または ▼ ボタンを押す

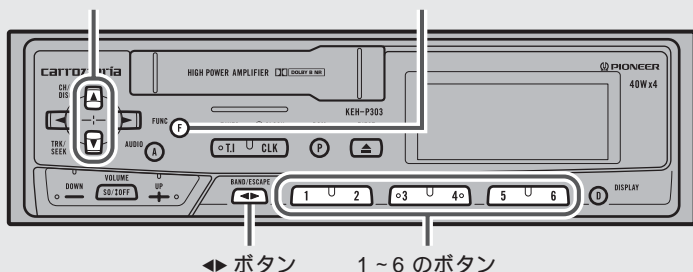
▲：次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼：前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



▲ ボタン / ▼ ボタン

ファンクション  
F ボタン



◀▶ ボタン

1 ~ 6 のボタン

マルチCD  
1

## 聞きたいCDを 直接選ぶ (6/12枚)

ダイレクトサーチ

聞きたいCDにワンタッチで切り換えることができます。

チェック 6連奏/12連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

### 聞きたいCDを選ぶ

1 ~ 6 のボタンを押す

2秒以内：1 ~ 6枚目のCDを選ぶとき  
2秒以上：7 ~ 12枚目のCDを選ぶとき



マルチCD  
2

## おおまかに選んでから聞 きたいCDを選ぶ (50枚)

ラフサーチ

聞きたいCDの10の位の数字を合わせることが  
できます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

### 1 聞きたいCDをおおまかに選ぶ

1 ~ 5 のボタンを押す

- 1：10 ~ 19枚目のCDを選ぶとき
- 2：20 ~ 29枚目のCDを選ぶとき
- 3：30 ~ 39枚目のCDを選ぶとき
- 4：40 ~ 49枚目のCDを選ぶとき
- 5：50、51枚目のCDを選ぶとき



### 2 聞きたいCDを選ぶ

▲または▼ボタンを押す

- ▲：次のCDを選ぶとき
- ▼：前のCDを選ぶとき



### メモ

エクストラトレイにあるCDを選んだときや、エクストラトレイからマガジンにCDが移動しているときは、“LOAD”が表示されます。(※50連奏マルチCDプレーヤーの取扱説明書)

## モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

## ファンクションモードの切り換え

## ファンクションモードを切り換える

Fボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ マルチCD④ 24ページ)

タイトルリストモード

(☞ マルチCD⑮ 33ページ)

“ABC” ディスクタイトルサーチモード (50枚)

(☞ マルチCD⑯ 34ページ)

ランダムモード (☞ マルチCD⑥ 26ページ)

スキャンモード (☞ マルチCD⑤ 25ページ)

ITS再生モード (☞ マルチCD③ 28ページ)

ミュージックグループ別モード (50枚)

(☞ マルチCD⑫ 31ページ)

演奏頻度別モード (50枚)

(☞ マルチCD⑰ 35ページ)

ポーズモード (☞ マルチCD⑳ 37ページ)

COMP切り換えモード

(☞ マルチCD⑱ 36ページ)

リピートモードに戻る

## メモ

ファンクションモードを解除するには、◀ボタンを押します。

(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

## 詳細設定モードの切り換え

## 1 詳細設定モードにする

Fボタンを2秒以上押す

## 2 詳細設定モードを切り換える

Fボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード

(☞ マルチCD⑭ 32ページ)

ITS入力モード (☞ マルチCD⑦ 27ページ)

ミュージックグループ別入力モード (50枚)

(☞ マルチCD⑪ 30ページ)

プログラムファンクション設定モード

(☞ その他① 42ページ)

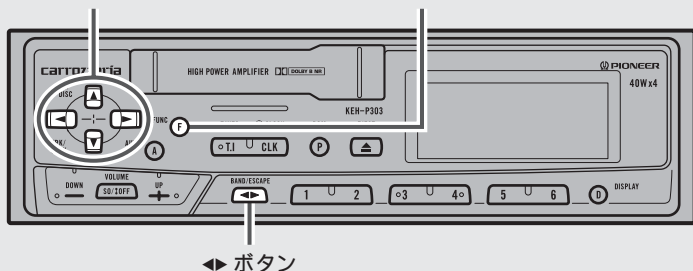
タイトル入力モードに戻る

## メモ

詳細設定モードを解除するには、▶ボタンを押します。

▲ ボタン / ▼ ボタン / ◀ ボタン / ▶ ボタン

ファンクション  
F ボタン



## マルチCD 4 同じ曲やCDを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

### 再生範囲について

再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

マルチCDを2台以上接続したときは、マルチCDリピートの次に、オールリピート (ALL) に切り換わります。オールリピートにすると、接続したすべてのマルチCDを通して再生します。

### 1 リピートモードにする

Fボタンを押して選ぶ  
( マルチCD 23ページ)



### 2 再生範囲を切り換える

◀または▶ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



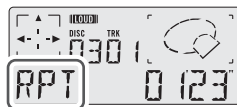
TRK (トラックリピート)

DSC (ディスクリピート)

MCD (マルチCDリピート)

TRKに戻る

◀ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



選んだ再生範囲が表示されます。

表示	再生範囲
RPT	トラックリピート
DISC	ディスクリピート
MAG	マルチCDリピート



## 聞きたい曲やCDをさがす

トラックスキャン再生 / ディスクスキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

1 リpeatモードにして  
再生範囲を選ぶ (E5 マルチCD④)

聞きたい曲をさがすとき  
(トラックスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。  
再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

聞きたいCDをさがすとき  
(ディスクスキャン再生)

再生範囲をマルチCDリピートに切り換えます。  
マルチCD内のすべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

## 2 スキャンモードにする

Fボタンを押して選ぶ  
(E5 マルチCD⑤ 23ページ)



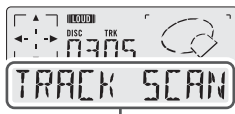
## 3 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生の種類が表示されます。

4 聞きたい曲 (CD) が再生され  
たらスキャン再生を解除する

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生を解除してください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す



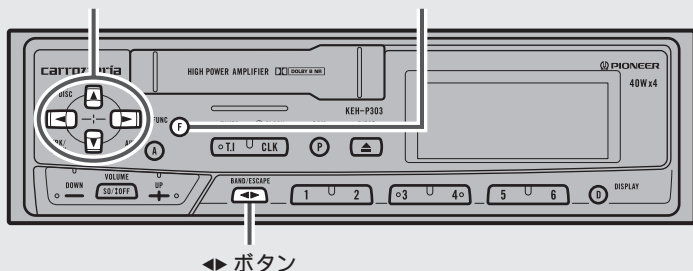
◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。  
マルチCDを2台以上接続したときは、手順1でオールリピートを選んで、スキャン再生をすることもできます。この場合、接続したすべてのマルチCD内の、すべてのCDの1曲目だけが再生されます。

▲ ボタン / ▼ ボタン / ◀ ボタン / ▶ ボタン

ファンクション  
F ボタン



## マルチCD 6 いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

### 1 リpeatモードにして再生範囲を選ぶ (※ マルチCD ④ 24ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

### 2 ランダムモードにする

Fボタンを押して選ぶ  
(※ マルチCD ③ 23ページ)



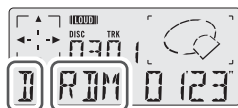
### 3 ランダム再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

◀ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

選んだ再生範囲が表示されます。

表示	再生範囲
D	ディスクリピート
M	マルチCDリピート

### メモ

マルチCDを2台以上接続したときは、手順1でオールリピートを選んで、ランダム再生をすることができます。この場合、接続したすべてのマルチCD内の曲がランダムで再生されます。

記憶させた曲だけ再生する (📖 マルチCD ⑧ 28ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。

## ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (📖 マルチCD ⑧ 28ページ) 機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えませんが、CD1枚につき24曲まで記憶できます。

ITSは、タイトル (📖 マルチCD ⑩ 32ページ)、グループ分け (📖 マルチCD ⑪ 30ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、記憶してから再生していないCDの中で、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

## 1 記憶させたいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す  
(📖 ここだけで④ 14ページ)

## 2 ITS入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (📖 マルチCD ⑥ 23ページ)



## 3 記憶させたい曲を選ぶ

◀または▶ボタンを押す  
(📖 ここだけで④ 15ページ)

## 4 記憶させる

▲ボタンを押す

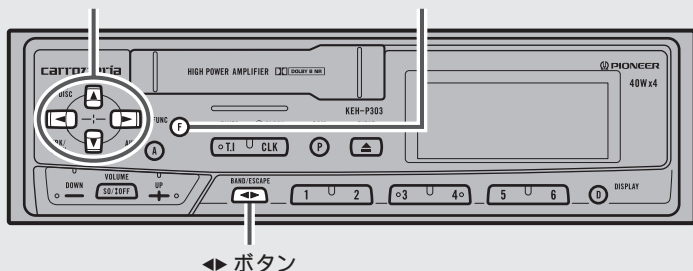


約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

◀▶ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

▲ ボタン / ▼ ボタン / ◀ ボタン / ▶ ボタン

ファンクション  
F ボタン



## マルチCD 8 記憶させた曲だけ再生する

ITS再生

ITS記憶 (マ 3 マルチCD 7 27ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

**1** リピートモードにして再生範囲を選ぶ (マ 3 マルチCD 4 24ページ)

選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

**2** ITS再生モードにする

Fボタンを押して選ぶ  
(マ 3 マルチCD 3 23ページ)



**3** ITS再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

◀ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ITS再生中に表示されます。

### メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、「ITS EMPTY」が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

## 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS消去 (1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

### 1 ITS再生をONにする

(☞ マルチCD⑨)

### 2 消去したい曲を再生する

◀または▶ボタンを押す

(☞ ここだけで④ 15ページ)

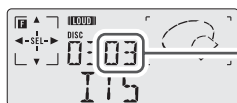
### 3 ITS入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (☞ マルチCD⑨ 23ページ)



### 4 消去する

▼ボタンを押す



記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

◀ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

#### メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

## 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す

ITS消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

### 1 消去したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す

(☞ ここだけで④ 14ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。

### 2 ITS入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (☞ マルチCD⑨ 23ページ)



### 3 消去する

▼ボタンを押す

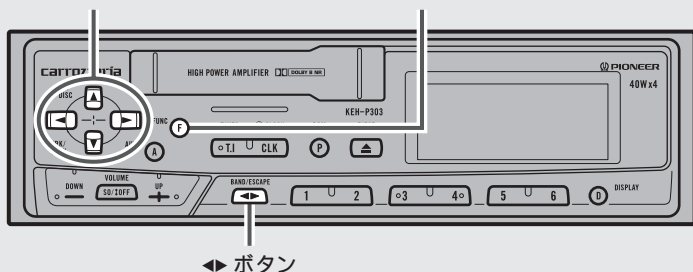


約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

◀ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

▲ ボタン / ▼ ボタン / ◀ ボタン / ▶ ボタン

ファンクション  
F ボタン



## マルチCD 11 CDをグループ分けする (50枚)

ミュージックグループ別記憶

聞きたいグループ (ジャンル) のCDだけを再生する (※ マルチCD⑫) ために、あらかじめCDをグループ分けしておきます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

### グループ分けについて

グループ分けは、聞きたいCDをグループごとに記憶させておき、そのグループを再生する (※ マルチCD⑫) 機能です。

記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

グループ分けは、タイトル (※ マルチCD⑬ 32ページ)、ITS (※ マルチCD⑭ 27ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。100枚を超えたときは、記憶してから再生していないICDの中で、いちばん古いICDの記憶が消されて、新しいICDが記憶されます。マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

### 3 グループを選ぶ

◀または▶ボタンを押す



選んだグループが点滅します。

次のようなグループがあります。

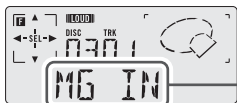
ROCK1	ROCK2	POPS1
POPS2	JAZZ	FUSION
CLASSIC	GROUP1	GROUP2
GROUP3		

### 1 グループ分けさせたいICDを再生する

▲または▼ボタンを押す  
(※ ここだけで⑬ 14ページ)

### 2 ミュージックグループ別入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (※ マルチCD⑬ 23ページ)



約2秒間表示されます。

### 4 記憶させる

▲ボタンを押す



一度点滅が止まり、記憶したことを知らせます。

◀ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

マルチCD  
12

## グループ別で再生する (50枚)

ミュージックグループ別再生

グループ分け (※ マルチCD①) されたCDだけを再生することができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

### 1 ミュージックグループ別モードにする

Fボタンを押して選ぶ  
(※ マルチCD③ 23ページ)



### 2 聞きたいグループを選ぶ

◀または▶ボタンを押す



選んだグループが表示されます。

### 3 ミュージックグループ別再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



ミュージックグループ別再生が始まり、グループ分けされたCDだけが再生されます。

◀▶ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

#### メモ

手順2で選んだグループにCDが記憶されていない場合は、「MG EMPTY」が約2秒間表示されて、ミュージックグループ別再生は行われません。

マルチCD  
13

## CDをグループから消す (50枚)

ミュージックグループ別消去

グループ分けされたCDをグループから消すことができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

### 1 消去したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す  
(※ ここだけで④ 14ページ)

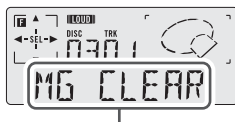
### 2 ミュージックグループ別入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (※ マルチCD③ 23ページ)



### 3 消去する

▼ボタンを押す

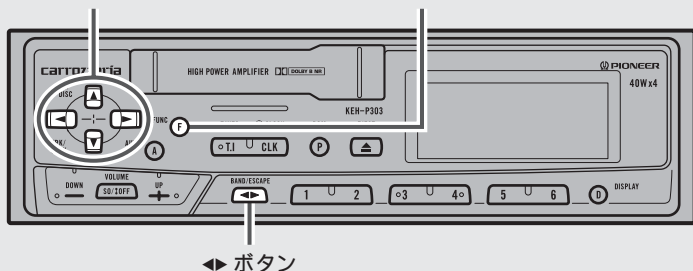


約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

◀▶ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

▲ ボタン / ▼ ボタン / ◀ ボタン / ▶ ボタン

ファンクション  
F ボタン



## マルチCD 14 CDのタイトルを記憶させる

タイトル記憶

CDのタイトルを表示させる (☞ マルチCD ⑩ 35ページ) ために、あらかじめタイトルを記憶させておきます。

### タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト (☞ マルチCD ⑮) や “ABC” ディスクタイトルサーチ (☞ マルチCD ⑯ 34ページ) で聞きたいCDをさがすこともできます。

タイトルは10文字まで入力できます。

タイトルは、ITS (☞ マルチCD ⑦ 27ページ)、グループ分け (☞ マルチCD ⑪ 30ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、記憶してから再生していないCDの中で、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

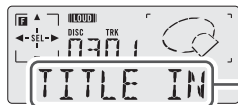
マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

### 1 タイトルを入力したいCDを再生する

▲ または▼ ボタンを押す  
(☞ ここだけで④ 14ページ)

### 2 タイトル入力モードにする

F ボタンを2秒以上押してから、F ボタンを押して選ぶ (☞ マルチCD ③ 23ページ)



約2秒間表示されます。

### 3 タイトルを入力する

入力する文字を選ぶとき

▲ または▼ ボタンを押す

▲ : 次の文字を選ぶとき

▼ : 前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

文字は\_ (空白)、A~Z (アルファベット)、\* + , - / (記号)、0~9 (数字) の中から選ぶことができます。



CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

入力する位置を選ぶとき

◀または▶ボタンを押す

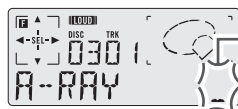
▶: 右に移動させるとき

◀: 左に移動させるとき



10文字まで入力できます。

## 4 入力が終わったら 10文字目を点滅させる



余った場合は空白を入力して、10文字目を点滅させます。

## 5 入力したタイトルを記憶する

▶ボタンを押す



入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

◀ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

## メモ

タイトル入力中(文字が点滅しているとき)に◀ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

## 1 タイトルリストモードにする

Fボタンを押して選ぶ

( マルチCD 23ページ)



約2秒間表示されます。

## 2 聞きたいCDを選ぶ

◀または▶ボタンを押す

▶: 次のCDのタイトルを表示させるとき

◀: 前のCDのタイトルを表示させるとき



記憶されているタイトルが表示されます。また、そのCDのCD番号が点滅します。

## 3 選んだCDを再生する

▲ボタンを押す

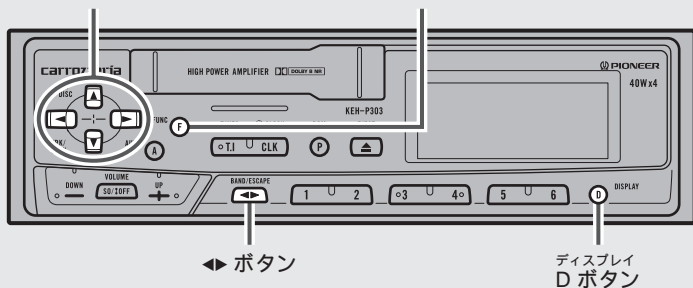


選んだCDが再生されます。(CDが切り換わる間、点滅が止まります。)

◀ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

▲ ボタン / ▼ ボタン / ◀ ボタン / ▶ ボタン

ファンクション  
F ボタン



マルチCD  
16

## タイトルの頭文字でCDをさがす (50枚)

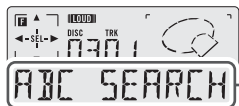
“ABC” ディスクタイトルサーチ

CDのタイトルの頭文字で、聞きたいCDをさがすことができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

### 1 “ABC” ディスクタイトルサーチモードにする

Fボタンを押して選ぶ  
(マルチCD 23ページ)



約2秒間表示  
されます。

### 2 タイトルの頭文字を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：次の文字を選ぶとき

▼：前の文字を選ぶとき



#### メモ

手順3の操作を解除したい場合は、▼ボタンを押すと解除され手順2に戻ります。  
選んだ頭文字のCDがないときは、“NO TITLE”が約8秒間、点滅表示されます。

### 3 聞きたいタイトルを選ぶ

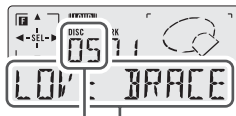
◀または▶ボタンを押す



次のCDのタイトルが表示されます。また、そのCDのCD番号が点滅します。

### 4 選んだタイトルのCDを再生する

▲ボタンを押す



選んだCDが再生されます。(CDが切り換わる間、点滅が止まります。)

◀▶ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

## 演奏頻度でCDを再生する (50枚)

演奏頻度別再生

日ごろよく聞くCDやあまり聞かないCDを、頻度順に再生することができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

### 演奏頻度別再生について

演奏頻度別再生は、マガジンにセットされているCDの再生された頻度により、よく聞くCD順 (MOST) または、あまりよく聞かないCD順 (LEAST) に再生する機能です。

## 1 演奏頻度別モードにする

Fボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD 23ページ)



## 2 頻度を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

▶ : MOSTを選ぶとき

◀ : LEASTを選ぶとき



選んだ頻度が表示されます。

## 3 頻度別再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



演奏頻度別再生が始まり、頻度順にCDが再生されます。

◀▶ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



演奏頻度別再生中に表示されます。

## CDのタイトルやグループを表示させる

ディスプレイ切り換え

タイトル記憶 (☞ マルチCD 32ページ) で記憶させたCDのタイトルや、グループ分け (☞ マルチCD 30ページ) されたCDのグループを、表示させることができます。

### 表示を切り換える

Dボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

曲番号/再生経過時間表示



タイトル表示



入力したタイトル

グループ表示



分けたグループ

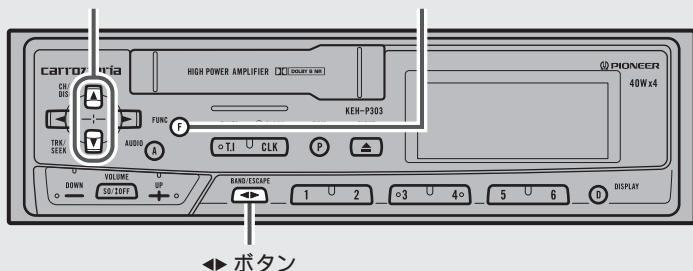
曲番号/再生経過時間表示に戻る

### メモ

タイトルが入力されていないCDやグループ分けされていないCDで表示を切り換えると、“NO TITLE”や“NO GROUP”が約8秒間、点滅表示されます。

▲ ボタン / ▼ ボタン

ファンクション  
F ボタン



## マルチCD 19 CDの音質を調整する

コンプレッション / DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック コンプレッション/DBE機能の付いたマルチCDプレーヤー(「CDX-P620S」など)で操作できます。

### コンプレッションについて

コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

### DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック バス エンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

## 1 COMP切り換えモードにする

Fボタンを押して選ぶ

( マルチCD ③ 23ページ)



現在のコンプレッション/DBEの状態が表示されます。

### ご注意

コンプレッション/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、“NO COMP”が表示されて、操作できません。

## 2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

OFF

COMP 1 (コンプレッション1)

COMP 2 (コンプレッション2)

OFF

DBE 1

DBE 2

最初のOFFに戻る

◀▶ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

### メモ

コンプレッション、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。

CD再生を一時停止  
する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

## 1 ポーズモードにする

Fボタンを押して選ぶ  
( マルチCD ② 23ページ)

## 2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)

◀ ボタンを押して、ファンクションモード  
を解除してください。

一時停止中に表示されます。

選んだCDを取り出  
す (50枚)

CDイジェクト

選んだCDをマガジンからエクストラトレイ  
に移して取り出すことができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

## 1 取り出したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す  
( ここだけで ④ 14ページ)2 CDをエクストラトレイに  
移動する

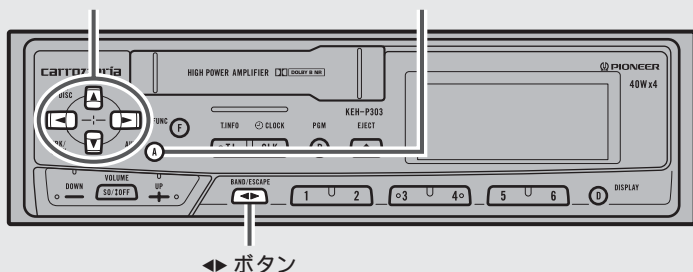
◀▶ ボタンを2秒以上押す

3 CDをエクストラトレイから  
取り出すCDの取り出しかたについては、50連奏マル  
チCDプレーヤーの説明書をご覧ください。

## メモ

すでにエクストラトレイにCDが入っているときは  
動作しません。

▲ ボタン / ▼ ボタン / ◀ ボタン / ▶ ボタン

オーディオ  
A ボタン

◀▶ ボタン

音の調節  
1

## オーディオ調節モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

## オーディオ調節モードを切り換える

A ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード (オーディオ④)

低音調節モード (オーディオ②)

高音調節モード (オーディオ③)

ラウドネスモード (オーディオ⑥ 41ページ)

FIEモード (オーディオ⑤ 40ページ)

音量バランス調節モードに戻る

## メモ

オーディオ調節モードを解除するには、◀▶ ボタンを押します。  
(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)音の調節  
2

## 低音を調節する

パス

低音を強めたり弱めたりすることができます。

## 1 低音調節モードにする

A ボタンを押して選ぶ (オーディオ①)



## 2 低音を調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：強めるとき

▼：弱めるとき



- 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

◀▶ ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

## 高音を調節する

トレブル

高音を強めたり弱めたりすることができます。

## 1 高音調節モードにする

Aボタンを押して選ぶ (オーディオ)



## 2 高音を調節する

▲または▼ボタンを押す

- ▲：強めるとき
- ▼：弱めるとき



−6 ~ +6 の範囲で調節できます。

◀▶ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

## 前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

## 1 音量バランス調節モードにする

Aボタンを押して選ぶ (オーディオ)



## 2 音量バランスを調節する

前後を調節する

▲または▼ボタンを押す

- ▲：前を強めるとき
- ▼：後ろを強めるとき



前後のバランスはF15～R15の範囲で調節できます。

左右を調節する

◀または▶ボタンを押す

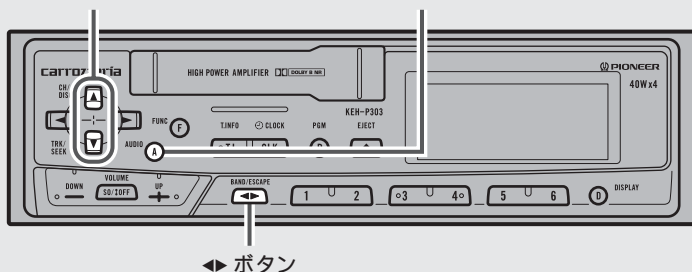
- ▶：右を強めるとき
- ◀：左を強めるとき



左右のバランスはL9～R9の範囲で調節できます。

◀▶ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

▲ ボタン / ▼ ボタン

オーディオ  
A ボタン音の調節  
5

## 前にステージがあるような感じにする

FIE

後ろのスピーカーの音を低音だけにして、後ろからではなく前から音が聞こえてくるようにすることができます。

## 1 FIEモードにする

Aボタンを押して選ぶ  
(オーディオ 38ページ)



## 2 FIEをONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



FIEがONのときに表示されます。

◀ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

## 3 前後の音量バランスを調節する (オーディオ 39ページ)

FIEをONにすると、後ろのスピーカーの音が低音だけになりますので、前後のスピーカーのバランスが良くなるように調節してください。

## ご注意

FIEをOFFにするときは、音量を小さくしてから行ってください。FIEをOFFにすると、後ろのスピーカーから低音以外の音も出力されるので、音量が急に大きくなります。

## メモ

FIEとは、Front Image Enhancer (フロントイメージエンハンサー) の略です。  
2スピーカーシステムをお使いの方は、FIEをOFFにしてください。




# 小音量時の音にメリハリをつける

## ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。(この機能は、初期設定ではONになっています。)

### 1 ラウドネスモードにする

Aボタンを押して選ぶ

( オーディオ  38ページ)



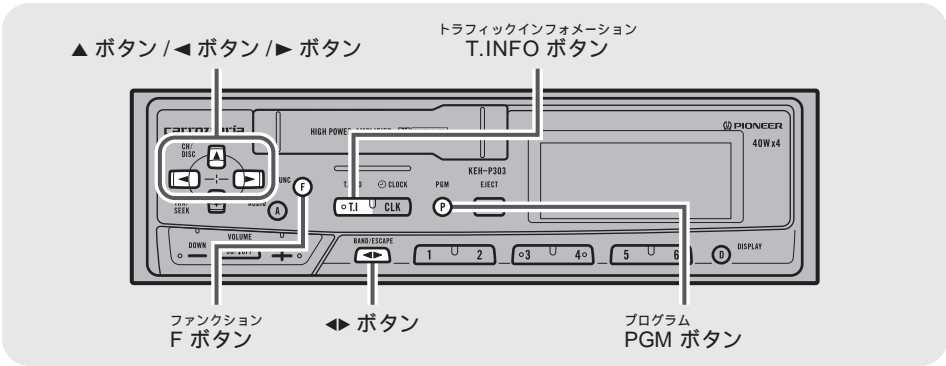
### 2 ラウドネスをONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



ラウドネスがONのときに表示されます。

◀ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。



その他 **1** よく使う機能を学習させる プログラムファンクション

よく使う機能をソースごとに、PGM ボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。(初期設定では、テープにドルビー B NR、ラジオに BSM、マルチ CD にポーズが学習されています。)

テープのとき

**1** プログラムファンクション設定モードにする

F ボタンを 2 秒以上押す



約 2 秒間表示されます。

**3** 選んだ機能を学習させる

▲ ボタンを押す



点滅が止まり、選んだ機能が学習されます。

**2** 学習させたい機能を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



NR (ドルビー B NR)

B-SKIP (ブランクスキップ)

RPT (リピート)

RI (ラジオインターセプト)

**4** 学習させた機能を操作する

PGM ボタンを押す

学習させた機能により、操作方法が以下のようになります。

学習できる機能	押す	2 秒以上押す
ドルビー B NR	ON/OFF	-----
ブランクスキップ	ON/OFF	-----
リピート	ON/OFF	-----
ラジオインターセプト	ON/OFF	-----

## プログラムファンクション (つづき)

### ラジオのとき

ラジオでは、初期設定のBSM以外の機能を学習させることはできません。PGM ボタンを押したときの動作は、以下のようになります。

学習できる機能	押す	2秒以上押す
BSM	OFF	ON

### マルチCDのとき

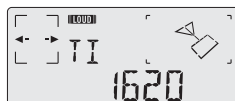
マルチCDで、プログラムファンクション設定モードにするには、F ボタンを2秒以上押し、詳細設定モードにしてから、F ボタンで選びます。(E5 マルチCD 23ページ) マルチCDで学習できる機能と、PGM ボタンを押したときの動作は、以下のようになります。

学習できる機能	押す	2秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	----
リピート	切り換え	----
ランダム	ON/OFF	----
タイトルリスト	タイトルリスト モードになる	----
ITS	記憶	再生

## 1

### 交通情報を受信する

T.INFO ボタンを押す



AM 1,620 kHzの交通情報を受信します。

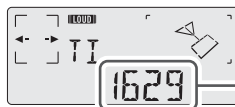
## 2

### 放送に合わせて周波数を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 1,629 kHz にするとき

◀ : 1,620 kHz にするとき



受信周波数

## 3

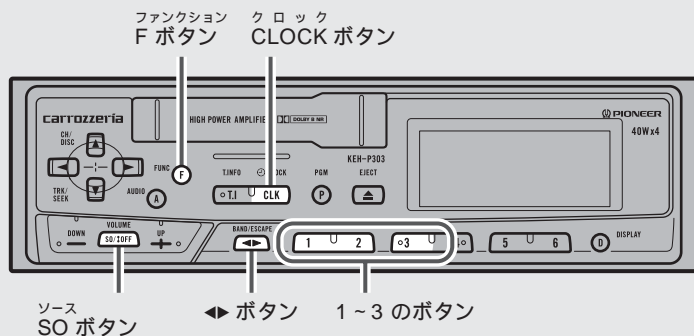
### 交通情報の受信をやめる

T.INFO ボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

### メモ

この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。



その他  
3

## 時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。

### 時計を合わせる

#### 1 「時」を合わせる

CLOCK ボタンを押しながら 1 のボタンを押す  
1 のボタンを押すごとに、1 時間ずつ進みます。

#### 2 「分」を合わせる

CLOCK ボタンを押しながら 2 のボタンを押す  
2 のボタンを押すごとに、1 分ずつ進みます。

#### 3 0 秒からスタートする

CLOCK ボタンを放す  
時計が 0 秒から動き始めます。

### 時報で時計を合わせる

#### 時報で合わせる

時報に合わせて、CLOCK ボタンを押しながら 3 のボタンを押す  
「分」が「00」になります。  
例) 10 : 00 ~ 10 : 29    10 : 00  
      10 : 30 ~ 10 : 59    11 : 00  
この操作により、時計の誤差を解消できます。

その他

4

## 時計を表示させる

時計表示

本機の電源がONのときは、時計を表示させることができます。

### 時計を表示する

CLOCK ボタンを押す  
ボタンを押すごとに、ON/OFF します。



### メモ

時計表示のときに時計合わせ (☞ その他④) 以外の操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約25秒間で時計表示に戻ります。

その他

5

## 初期設定モードの切り換えかた

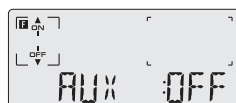
外部機器やディマーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

### 1 電源をOFFにする

SO ボタンを1秒以上押す  
(☞ ここだけで① 8 ページ)

### 2 初期設定モードにする

電源がOFFのときに、F ボタンを2秒以上押す



初期設定モードになります。

### 3 初期設定モードを切り換える

F ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

AUX (外部機器) モード  
(☞ その他⑦ 47 ページ)

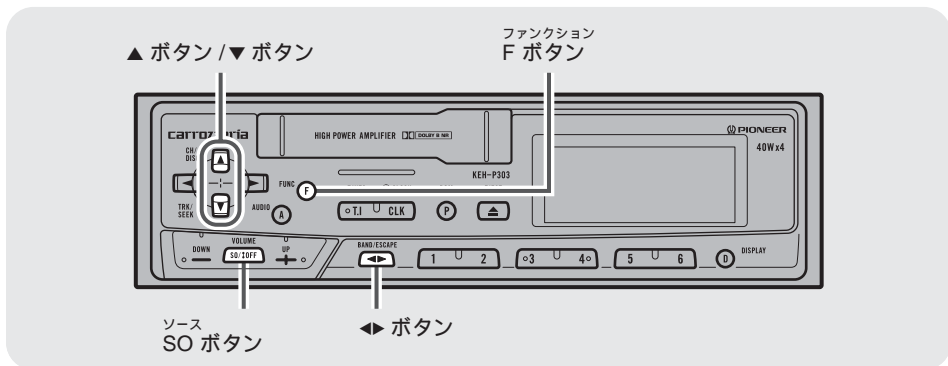
オートアンテナモード  
(☞ その他⑧ 48 ページ)

ディマーモード (☞ その他⑨ 46 ページ)

AUX (外部機器) モードに戻る

### メモ

初期設定モードを解除するには、◀▶ ボタンを押します。  
(解除すると電源がOFFになります。)



## 6 その他 夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマーの設定

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。このディマーの設定は、OFFにすることができます。

### 1 ディマーモードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ

(☞ その他 45 ページ)



### 2 ディマーの設定をOFFにする

▼ボタンを押す (▲ボタンでON)



◀▶ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

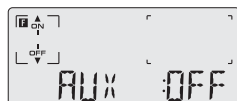
### 外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。

詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

## 1 AUX (外部機器) モードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ  
(☞ その他 ⑤ 45 ページ)



## 2 AUX (外部機器) の設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



◀▶ ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

## 3 ソースをAUXにする

SO ボタンを押して選ぶ

(☞ ここだけで ① 8 ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。

## 4 外部機器の名称入力モードにする

F ボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

## 5 外部機器の名称を入力し、記憶させる (☞ マルチCD ⑩ 32 ページ)

CDタイトル入力の手順3～5を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。

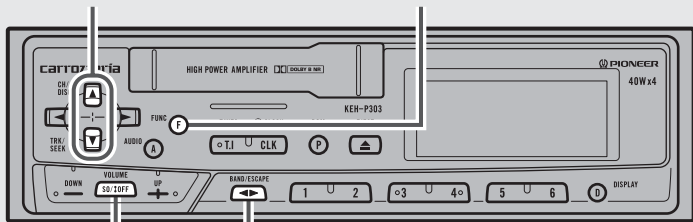
例) “DAT” を入力した場合



“AUX” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

▲ ボタン / ▼ ボタン

ファンクション  
F ボタン



ソース  
SO ボタン

◀▶ ボタン

その他  
8

## テレビのときにオートアンテナをのぼす

オートアンテナの設定

パイオニア製のテレビ (5.5型AVシステムTV「AVX-P505」など) を接続した場合、ソースをテレビにしたときも、車に装備されているオートアンテナをのぼすことができます。

### オートアンテナの設定について

設定がOFFのときは、ソースをラジオにしたときだけ、オートアンテナがのびます。

設定をONにすると、ソースをテレビにしたときも、オートアンテナがのびるようになります。

ラジオとテレビでオートアンテナを共用するときは、設定をONにしてください。

### 1 オートアンテナモードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押ししてから、Fボタンを押して選ぶ

(☞ その他⑤ 45ページ)



### 2 オートアンテナの設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)

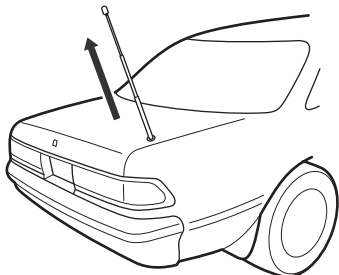


◀▶ ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

### 3 ソースをテレビにする

SO ボタンを押して選ぶ

(☞ ここだけで⑧ 8ページ)

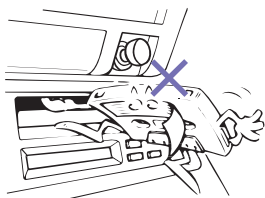


オートアンテナがのびるようになります。



## ご使用になるテープについて

ラベルがはがれかけたテープは使用しないでください。ラベルが引っかかり、テープが取り出せなくなります。このようなテープは、ラベルをはがしてからお使いください。



C-90 (90分用)までのテープをお使いください。

C-120 (120分用)のテープは使用しないでください。テープが非常に薄いため、テープが回転部分に巻き付いたり、切れたりすることがあります。

## 保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、テープを保管しないでください。テープが変形してしまいます。



スピーカーの近くや磁石の近くなど、磁気のあるところにテープを保管しないでください。

テープを聞かないときは、テープがゆるまないようにカセットケースに入れて保管してください。

## ヘッドのお手入れについて

テープのヘッドは、月に1～2回程度クリーニングしてください。ヘッドの汚れがひどくなると、音が悪くなったり、音とびを起こしたりします。定期的にクリーニングするように心がけてください。

ヘッドのクリーニングには、クリーニングカセット「ST-650」(別売)をおすすめします。テープ再生と同じようにセットするだけで、ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーなど、テープデッキの内部の汚れを一度に清掃してくれます。カーステレオ販売店でお買い求めください。



市販のクリーニングテープをお使いになるときは、説明書や注意書きを十分お読みください。また、一度の清掃につき片面1回だけ走行させてください。何度もテープ走行させると、ヘッドの磨耗を早めますのでご注意ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。



チェックしても直らないときは保証書とアフターサービス (☎ その他⑩ 52 ページ) をお読みになり、修理を依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (☎ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (☎ ここだけで② 11 ページ) (☎ ここだけで⑤ 13 ページ) (☎ ここだけで④ 15 ページ)
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。 (☎ はじめに② 7 ページ)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (☎ オーディオ④ 39 ページ)
前または後のスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (☎ オーディオ④ 39 ページ)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (☎ オーディオ④ 39 ページ)

ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (☎ ここだけで④ 12 ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☎ ここだけで④ 12 ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☎ ここだけで④ 12 ページ)

## テープ

症 状	原 因	処 置
テープ再生の途中で、再生面が自動的に切り換わる。	テープがからみついている。	テープを交換してください。
テープ再生の音質が悪い。	テープの巻きかたが乱れている。	早送りや巻き戻しをして、テープを均一に巻き直してください。 ( <small>☞</small> テープ① 16 ページ)
	テープの録音状態が良くない。	ほかのテープと交換してください。 良くなればテープの不良です。
	ドルビー NR が正しく働いていない。	録音したときのドルビー NR と、本機のドルビー NR の ON/OFF を合わせてください。 ( <small>☞</small> テープ⑥ 49 ページ)
	テープヘッドが汚れている。	テープヘッドの汚れを清掃してください。 ( <small>☞</small> その他⑨ 19 ページ)
頭出しが正しく働かない。 リピート再生が正しく働かない。	曲と曲の間の“あき”が4秒以上ない。	“あき”が4秒以上のテープを使用してください。
	会話のように、音の途切れている部分が4秒以上続いている。	このような録音内容のテープでは、“あき”があると判断してしまうため、頭出しやリピート再生が正しく働かないことがあります。
	曲の途中で、非常に小さな音が4秒以上続いている。	

### 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

### 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

### 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

### 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

### ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターまたは最寄りのパイオニアインフォメーションセンター (I・C) をご利用ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

## テープデッキ部

### 使用テープ

バック：コンパクトカセット  
(C-30 ~ C-90)

テープ速度：4.8 cm/sec.

### 早送り /

巻き戻し時間：約 100 秒 (C-60)

回転ムラ：0.09 % (WRMS)

再生周波数特性：30 ~ 19,000 Hz (± 3 dB)

### ステレオ

セパレーション：45 dB

S/N：メタルテープ：

DOLBY B NR IN

67 dB (IHF-A ネットワーク)

DOLBY NR OUT

61 dB (IHF-A ネットワーク)

## FM チューナー部

受信周波数帯域：76.1 ~ 89.9 MHz

実用感度：11 dBf (1.0 μV/75、  
モノラル、S/N：30 dB)

S/N 50 dB

感度：16 dBf

(1.7 μV/75、モノラル)

S/N：70 dB (IHF-A ネットワーク)

高調波歪率：0.3 %

(65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)

周波数特性：30 ~ 15,000 Hz (± 3 dB)

### ステレオ

セパレーション：40 dB (65 dBf 入力、1 kHz)

## AM チューナー部

受信周波数帯域：522 ~ 1,629 kHz

実用感度：18 μV (S/N：20dB)

実効選択度：50 dB (± 9 kHz)

## アンプ・共通部

最大消費電流：10.0 A

最大出力：40 W × 4

定格出力：20 W × 4 (50 ~ 15,000 Hz、5 %)

### トーン

コントロール：バース：± 12 dB (100 Hz)

トレブル：± 12 dB (10 kHz)

### ラウドネス

コンター：10 dB (100 Hz)、7 dB (10 kHz)  
(ボリューム：- 30 dB)

### 負荷

インピーダンス：4 (4 ~ 8 使用可能)

### プリアウト

出力レベル：500 mV

### 出力

インピーダンス：1 k

使用電源：DC 14.4 V

(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式：マイナスアース方式

### 外形寸法

(取付寸法)：178 (W) × 50 (H) × 158 (D) mm

(ノーズ寸法)：170 (W) × 46 (H) × 11 (D) mm

質量：1.2 kg (コードユニット含まず)

## 付属品

コードユニット：1

取付ネジ類：1 式

取扱説明書：1

取付説明書：1

安全上のご注意：1

保証書：1

ご相談窓口：

修理窓口のご案内：1

## メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

## 本機の操作の概要

本機の操作のまとめです。ひと通りの操作が終わった後、操作を忘れたときなどにお使いください。

### ふだん使う機能の操作のしかた

ふだん使う機能は、▲/▼/◀/▶ ボタンおよび◀▶ ボタンで操作します。

聞いているソース 押すボタン	テープを 聞いているとき	ラジオ、テレビを 聞いているとき	CD、MDを 聞いているとき
◀または▶ ボタン	早送り/巻き戻し、頭出し	自動選局、手動選局	選曲、早送り/早戻し
▲または▼ ボタン	-----	記憶させた放送局の 切り換え	再生するディスクの切り換え (マルチCD、マルチMD を接続している場合のみ)
◀▶ ボタン	再生方向 (A面/B面) の 切り換え	バンド (FM/AM) の 切り換え	マルチCDの切り換え (マルチCDを2台以上接 続している場合のみ)

### 便利な機能の操作のしかた

ふだん使う機能以外は、オペレーションモードを切り換えて操作します。  
オペレーションモードには4つのモードがあり、次の手順で操作します。

手 順	モード	ファンクション モード	詳細設定 モード	初期設定 モード	オーディオ調節 モード
1	それぞれのモードにする	F ボタンを押す	F ボタンを 2秒以上押す	電源がOFFの ときに、F ボタンを 2秒以上押す	A ボタンを押す
2	機能を切り換える	F ボタンを押す			A ボタンを押す
3	機能をON/OFFする または 項目を選ぶ	▲または▼ ボタンを押す			
		◀または▶ ボタンを押す			
4	それぞれのモードを 解除する	◀▶ ボタンを押す			

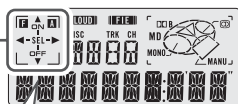
## それぞれのモードで操作できる機能について

- ファンクションモード** : テープのリピート再生 (E35 テープ③ 17ページ) やマルチCDのスキャン再生 (E35 マルチCD⑤ 25ページ) など、それぞれのソースの便利な機能を操作できます。
- 詳細設定モード** : PGM (学習) ボタンの記憶 (E35 その他① 42ページ) やマルチCDのタイトル入力 (E35 マルチCD⑬ 32ページ) など、便利な機能の詳細を設定できます。
- 初期設定モード** : 外部機器 (E35 その他⑦ 47ページ) やディママー (E35 その他⑥ 46ページ) などの設定ができます。
- オーディオ調節モード** : フェーダー/バランス (E35 オーディオ④ 39ページ) やバス (E35 オーディオ② 38ページ) /トレブル (E35 オーディオ③ 39ページ) など、音質に関する調節ができます。

## ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。

F、A、▲/▼/◀/▶ ボタンの中で、操作可能なボタンが表示されます。



## 表示の例

## 内容



▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。



▲または▼ボタンで機能のON/OFFができます。  
また、Aボタンで機能を切り換えることができます。



◀または▶ボタンで項目を選ぶことができます。  
また、Fボタンで機能を切り換えることができます。



エコマーク認定の再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 1997

< 97J00F0P01 >

< CRA2421-A/JS >

# **パイオニア株式会社**

〒153 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

**お客様ご相談窓口** (修理に関しては別添『ご相談窓口・修理窓口のご案内』参照)

お客様相談センター TEL 03-3491-8181

技術相談窓口	札幌 TEL 011-644-4779	大阪 TEL 06-353-3705
	仙台 TEL 022-375-4417	広島 TEL 082-228-2239
	名古屋 TEL 052-532-1141	福岡 TEL 092-441-8076